

科目名	GCB I						
科目名(英)	Global Citizen Basic I						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	木村 匡志		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	自らの責任において行動できる積極性や、良好な人間関係を構築できるコミュニケーションなど、社会で生き抜くうえでの“人間力”の根本は、自分の環境における感謝の気持ちにある。日常生活の中で「与えられることが普通」と思ってしまう“他者依存”から脱却し、周囲との協働を保ちつつ使命感を持って行動できる自立心を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
				○		自ら考える、気づく。積極的に参加(話し合い、発表)する。日常生活で実践する。	
テキスト・教材 参考図書	・グローバルシティズンベーシック I 感謝心と思いやりの教育(学生用テキスト)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	グローバルシティズンを目指そう			振り返りレポートの作成		
	2	「協働」の態度を持った学生生活			振り返りレポートの作成		
	3	よりより人間関係の構築に向けて～モラル・ルール・マナーの重要性～			振り返りレポートの作成		
	4	マナーの本質 I			振り返りレポートの作成		
	5	マナーの本質 II			振り返りレポートの作成		
	6	グローバルシティズンとしての日常			振り返りレポートの作成		
	7	グローバルシティズンとしての目標			振り返りレポートの作成		
	8	グローバルシティズンとしての「志」に向けて			振り返りレポートの作成		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)レポートを8回実施する (2)最後の授業で発表する。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート作成・発表				◎		100%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、不合格となる。						

科目名	Word						
科目名(英)	Word						
単位数	3単位	時間数	40時間	担当者	山田 智子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	目標となるサーティファイのWord3級検定試験は幅広い文書作成機能を習得しているだけではなく、文字入力の量も多いので、入力のスキルを上げることも重要である。そのためにWordの内容に入る前にタイプクイックソフトを使ってタッチメソッド(キーボードを見ない文字入力)のトレーニングをする。テキスト「30時間でマスター Word2016」を使って一般的なビジネス文書や表の作成方法を学習し、問題集「2016対応 Word 文書処理技能認定試験 3級問題集」を使ってより高度な機能の習得と検定対策を学習する。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技: △	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○				マウス(パソコンの基本操作)を正しく操作できる。		
			○		キーボードを見ないで文字入力ができる。		
	○				ビジネス文書の社外文書と社内文書の違いを説明することができる。		
		○	○		ビジネス文書作成に必要な文字入力や編集機能を効率的に操作できる。		
		○			Word文書処理技能認定試験3級に合格する。		
テキスト・教材 参考図書	タイプクイック 30時間でマスター Word2016 2016対応 Word 文書処理技能認定試験 3級問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業概要の説明とパソコンの基本操作					
	2	タイプクイックの設定と操作			毎日15～20分タイプクイックの練習をする。		
	3	タイプクイック・Word2016の基本操作			毎日15～20分タイプクイックの練習をする。		
	4	タイプクイック・Word_ローマ字入力			毎日15～20分タイプクイックの練習をする。		
	5	タイプクイック・Word_いろいろな文字入力			毎日15～20分タイプクイックの練習をする。		
	6	タイプクイック・Word_効率的な文字の訂正			毎日15～20分タイプクイックの練習をする。		
	7	タイプクイック・Word_文章入力			毎日15～20分タイプクイックの練習をする。		
	8	Word_文章入力・文書作成			毎日15～20分タイプクイックの練習をする。		
	9	Word_文書作成・作表の基本・タイプクイックの成績提出					
	10	検定問題集_練習問題1を演習を見ながら実習					
	11	検定問題集_練習問題1を演習を見ながら実習			練習問題1を仕上げる。		
	12	検定問題集_練習問題2_演習による解説後、各自で実習			練習問題2を仕上げる。		
	13	検定問題集_練習問題3_演習による解説後、各自で実習			練習問題3を仕上げる。		
	14	検定問題集_模擬問題1_各自で実習し、不明点を個別対応で解説。			模擬問題1を仕上げる。		
	15	試験プログラムの使用方法・模擬試験1回目					
	16	検定問題集_模擬問題2_各自で実習し、不明点を個別対応で解説。			模擬問題2.3を仕上げる。		
	17	検定問題集_模擬問題3_各自で実習し、不明点を個別対応で解説。			模擬問題4.5を仕上げる。		
	18	検定問題集_模擬問題4_各自で実習し、不明点を個別対応で解説。			模擬問題6.7を仕上げる。		
	19	模擬試験2回目					
	20	模擬試験解説・質疑・別問題					
	21						
	22						
23							
評価方法	(1)授業の中で検定対策として、模擬試験を2回実施する。(2)テキスト「30時間でマスター Word2016」内の入力練習文・ビジネス文書作成の練習問題を70%以上仕上げる。(3)授業中に終了しなかった問題集の課題を全て仕上げる。((2)(3)については、授業終了時にメモリ提出)(4)タイプクイックの成績提出とタッチタイプの習得。(5)検定試験を期末試験とする。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	検定試験	○	◎	○			50%
	模擬試験	○	◎	○			15%
	タイプクイックとタッチメソッド			◎	◎		10%
	上記(2)課題提出		○	◎	◎		5%
上記(3)検定問題集	○	◎	◎			20%	
履修上の注意	出席が14回に満たない場合は、評価Dとする。 タッチメソッドは継続したトレーニングによって習得できる物なので、毎日15～20分程度の自主トレーニングが必要である。						

科目名	サービス接客						
科目名(英)	Hospitality and Service Skill Proficiency						
単位数	2単位	時間数	40時間	担当者	稲岨 明子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	サービス業に就くうえで必要なビジネスマナーの基礎知識を学び、優れたサービススタッフとしての心構えや立居振る舞いができる。サービス接客検定の2級を取得する。就職活動に必要な社会人に相応しい言葉遣いができ、自分の意見をきちんと伝えることができるようになる。						
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	目標		
	○				サービス接客検定2級の範囲を網羅し、各セクションの小テストに合格する		
	○				社会人として相応しい態度と言葉遣いでお客様との会話ができる		
	○				過去問題10回のうち、5回以上合格点を取る(理：7問、実：9問)		
	○				記述式のビジネス文書問題について、合格ライン(70点以上)の文書を作成する		
	○				過去問題と実問題集を解き、振り返りシートをファイルし、検定前に復習する		
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・早稲田出版 サービス接客検定2級公式テキスト、サービス接客検定実問題集1・2級 ・ウィネット 実践ビジネスマナー 						
回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	検定2級の範囲と合格ラインを理解し、五択問題の理論編と実務編を解いてみる。				テキストを持ってくること	
	2	商業用語、経済用語を正しく読んで、言葉の意味を理解する				指定されたケーススタディを事前に読んでくること	
	3	交際業務に関する知識を身につける ①賀寿の祝い				小テスト①の勉強をしておくこと	
	4	交際業務に関する知識を身につける ②年中行事と記念日				小テスト②の勉強をしておくこと	
	5	ことわざを正しく読んで、言葉の意味を理解する				ことわざの勉強をしておくこと	
	6	敬語の種類について説明し、主な接客用語でお客様との会話ができる				敬語の小テストの勉強をしておくこと	
	7	制服を着る利点を理解し、仕事に正しく向き合う心構えができる				指定されたケーススタディを事前に読んでくること	
	8	環境整備の必要性を理解し、適切な掃除と整理整頓ができる				環境整備の五択問題のプリントを解いてくること	
	9	金品の管理についての専門用語を正しく理解し、領収書を正しく書くことができる				経理用語の過去問題のプリントを解いてくること	
	10	過去問題を実施し、解答後解説				交際業務のプリントを解いてくること	
11~20	過去問題を実施し、解答後解説				記述式の問題を解き、清書してくる		
評価方法	(1) 授業の中で小テストを10回実施する。(2) 授業の中で過去問題を10回実施する。 (3) ゴールデンウィーク中に宿題を過去問題5回分実施する。 (4) 検定を受験し、結果を評価に反映する (5) 定期試験を実施する						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト・宿題	◎	○		○		10%
	検定結果	◎	○				30%
過去問題10回	◎	○		○		10%	
履修上の注意	出席が14回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。全員6月8日(土)の検定を受験する。						

科目名 Subject Name	English Conversation						
科目名(英) Same as Above	English Conversation						
単位数 Credits	2	時間数 Hours	30	担当者 Instructor	Ian Dagnall		
実施年度 Year	1	実施時期 Semester	1	実務家教員 担当科目 Instructor with Career in Subject Area	○		
対象学科・学年 Class	Hotel 1						
授業概要 Subject Description	1. Raise students' English proficiency 2. Give students more confidence in using English 3. Workplace related English skills						
授業形式 Class Format	講義: Lecture △	演習: Practice ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標) Specific Targets in Focus	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標 Targets	
	○					Raise students' English proficiency	
	○					Give students more confidence in using English	
	○					Workplace related English skills	
テキスト・教材 参考図書 Textbooks and References	Speakout Elementary Book1						
授業計画 Class Schedules and Contents	回数	授業項目・内容 Topics and Contents			授業外学修指示 Preparation and Review		
	1	Get to know your teacher			none		
	2	1.1 Nice to meet you			Preview lesson materials and review previous lesson		
	3	1.2 Travel Light			Preview lesson materials and review previous lesson		
	4	1.3 Can I Have a Coffee?			Preview lesson materials and review previous lesson		
	5	Teacher's Lesson or 1.4 Fawly Towers (needs TV/DVD)			Preview lesson materials and review previous lesson		
	6	1.5 Lookback /teacher's lesson			Preview lesson materials and review previous lesson		
	7	2.1 Join Us			Preview lesson materials and review previous lesson		
	8	2.2 High Flyers			Preview lesson materials and review previous lesson		
	9	2.3 What Time Does It Start?			Preview lesson materials and review previous lesson		
10	Speaking Test			Review previous lesson material			
評価方法 Assessment Method	Students evaluation: (1) Test - 50% (2) Class participation - 25% (3) Attendance - 25 % The scoring scheme is: S (90 and above); A (80~89); B (70~79); C (60~69); D (59 and below)						
		言語情報 Language Info.	知的技能 Intellectual Skills	運動技能 Physical Skills	態度・意欲 Attitude/Ea gerness	その他 Other	評価割合 Percentage of Assessment
	定期試験 Semester End Exam	○	○		○		50%
	小テスト In-class Tasks	○	○		○		50%
	宿題・レポート Assignment/Report						
	発表・作品 Presentation/Works						
履修上の注意 Remarks	Students will not receive a grade if they miss more than 3 classes.						

科目名	ホテル概論						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	20時間	担当者	佐藤 俊子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	ホテル業を目指すうえで欠かせないホテル業の基本を学ぶ。何がホテル業の魅力なのか、お客様にとっていいホテルとは何なのか、またいいサービスとは何かをハード面とソフト面の両方で考える。また、夏のインターンシップに向けて日本を代表するホテルの名称とその特徴を学ぶ。あわせて国内系のホテルと外資系のホテルの違いと共通項を学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ホテルの宿泊、料飲、宴会を中心とした各部署の業務内容を理解できる。	
	○					ホテルを構成する部署とその役割を理解できる。	
	○					日本を代表するホテルの名称を正しく言い、特徴を理解できる。	
	○					国内系のホテルと外資系のホテルの特徴やその違いを理解できる。	
○					シティホテルとリゾートホテルの違いを理解できる。		
テキスト・教材 参考図書	現代ホテル理論						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ホテルの魅力とは？ホテル物知り度チェック				レジメを読んで復習すること	
	2	福岡市内の主要ホテルとその歴史を学ぶ				レジメを読んで復習すること	
	3	東京の御三家について学ぶ				レジメを読んで復習すること	
	4	東京の外資系ホテルについて学ぶ				レジメを読んで復習すること	
	5	テーマパークのホテル、アーバンリゾートについて学ぶ				レジメを読んで復習すること	
	6	沖縄、北海道、九州のリゾートホテルについて学ぶ				レジメを読んで復習すること	
	7	新しいジャンルのホテルについて学ぶ				レジメを読んで復習すること	
	8	ホテルのレストランが高い理由を考える				レジメを読んで復習すること	
	9	実習先のホテルについて調べる方法を学ぶ				最終週の課題をする	
	10	インターンシップのホテルについて調べたことを発表する					
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	① 授業の中で確認テストを数回実施する。② 授業中に調べたこと、コメントを書いたレジメを提出してもらう。③ レポート(夏に行く予定のインターンシップのホテルについて調べたもの)を提出してもらい、最終週に発表を行う。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト		○				20%
	コメントを書いたレジメの提出		○				20%
	最終の実習先レポート		○				60%
履修上の注意	欠席を3回するとこの授業の単位取得を認めない。						

科目名	レストラン実務A						
科目名(英)	Restaurant practical operations A						
単位数	2単位	時間数	40時間	担当者	木村 匡志		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	ホテルにて料飲担当として勤務		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	ホテル業界で活躍する能力を身に付けるにあたり、ホテルにおける料飲部門にて必要な専門知識や技術を習得する必要がある。この授業では、料飲部門の中でも特にレストラン部門で必要な什器備品の名称やサービス方法についてを学ぶ。また、この授業の成果をホテル実習にて存分に発揮することができるよう、実践的な授業にて技術を磨く。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
			○			レストランサービスに必要な身だしなみや基本動作を学び、実践することができる。	
	○					レストランでの接客用語や什器備品の名称を覚え、正確に答えることができる。	
			○			レストラン部門で必要な専門技術の方法を覚え、正確に実践することができる。	
			○			レストラン部門で必要な専門技術を、他者の前で正確かつ迅速に実践することができる。	
	○					レストラン部門で必要な専門知識を身に付け、期末試験で合格点を取ることができる。	
テキスト・教材 参考図書	日本ホテル・レストランサービス技能協会監修 基礎からわかるレストランサービススタンダードマニュアル						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	ホテルのレストラン部門について、身だしなみ・料飲実習服、備品の場所			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	レストランでの基本姿勢と動作、接客用語			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	レストラン部門の組織、シルバーウェアについて			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	チャイナウェアについて、グラスウェアについて			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	リネン類について、什器備品の取り扱い方法と磨き方			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	オープン前・クローズ後の業務、テーブルクロスのかかけ方			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	テーブルクロスの交換方法、テーブルナフキンの折り方(基本)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	テーブルナフキンの折り方(応用)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9	テーブルセッティング			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	10	アテンド業務・オーダーテイク			9の授業項目が完璧にできるよう復習をしておくこと		
	11	トレイサービス(安全な持ち方・練習)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	12	トレイサービス(サービス実践・応用)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13	ドリンクサービス			12の授業項目が完璧にできるよう復習をしておくこと		
	14	お皿の持ち方、バッシング			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	15	代表的なサービス形式、サーバーの使い方			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	16	レストランサービス実技試験練習			実技試験に向けて準備をすること		
	17	レストランサービス実技試験練習			実技試験に向けて準備をすること		
	18	レストランサービス実技試験			実技試験に向けて準備をすること		
	19	レストランサービス実技試験			実技試験に向けて準備をすること		
20	レストランサービス実技試験、レストラン専門用語、正試験対策			正試験に向けて復習をしておくこと			
評価方法	(1)授業の中で実技試験を実施する。(2)正試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験			◎	○		50%
	正試験	◎					50%
履修上の注意	受講の際は料飲実習服を着用し、身だしなみを整えた上で参加すること。 出席が14回に満たない場合は、正試験の受験資格を与えない。						

科目名	一般教養 I A						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	20時間	担当者	松藤		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員担当科目			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	就職試験問題に対応できる基礎力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力を身に付け実際の採用試験に解答できる能力の養成を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				漢字検定準2級程度の漢字までは読み書きが出来る。	
		○				計算問題を中心に正確に解答することが出来る。	
	○	○				英検準2級程度の問題に解答することが出来る。	
		○				地理や政治における基礎的な内容を理解し説明が出来る。	
テキスト・教材参考図書	専門学校生のための一般常識トレーニング ミニテスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	科目概要説明(シラバス)				次回学習部分に目を通しておくこと	
	2	ROUND1: 国語(漢字の知識)、英語(動詞の活用変化)、社会(主な国際機関について、時事用語)				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	3	ROUND2: 社会(環境問題、政治、宗教)、国語(漢字の知識)				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	4	第1回実力テスト ROUND2: 英語(英文書き換え)、国語(敬語表現、文学史)				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	5	ROUND3: 英語(単語の知識)、社会(憲法に関して、思想)、国語(漢字の知識、四字熟語)				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	6	ROUND4: 社会(歴史、国際連合について)、国語(文学史)				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	7	ROUND4: 社会(歴史、地理、時事問題)、計算問題(分数) ROUND5: 国語(漢字の知識)				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	8	第2回実力テスト ROUND5: 社会(世界の発明家について)				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	9	ROUND5: 英語(動詞の活用変化、時制、仮定法) ROUND6: 社会(主な国際機関)、英語(空所補充)				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	10	ROUND7: 国語(四字熟語)、社会(各国の歴史と現在の状況、名言・名句) まとめ				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1) 定期試験 (2) 宿題、レポート、小テスト (3) 授業中の態度 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○		○		80%
	小テスト	◎	○		○		10%
	宿題・レポート	○	○		◎		10%
履修上の注意	出席が7回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用英語 I A					
科目名(英)	Practical English I A					
単位数	エアライン科:6単位 ホテルリゾート科:4単位	時間数	エアライン科:90時間 ホテルリゾート科:60時	担当者	安元 千夏	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	エアライン科、ホテル・リゾート科 1年					
授業概要	国際化が進む中、航空業界をはじめサービス業界全般で英語能力が求められているため、基礎力の向上を目指す。英語運用能力を測る代表的な資格として、実用英語検定準2級の取得を目標とする。またTOEIC400点以上取得を目指し、分野別問題解法ポイントの習得対策を実施していく。日常英会話に留まらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの英語力を持つ人材の育成を目標とする。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○	○				英文法を理解し語彙力を高めることで、英検準2級レベルの読解力を身に付ける。
	○	○				会話文・アナウンスの聞き取りを強化し、英検準2級レベルのリスニング力を身に付ける。
	○	○				基本構文を用いた文章作成能力を高め、英検準2級レベルの英作文力を身に付ける。
	○	○				ビジネス英語の基本語彙を身に付け、TOEIC400点レベルの読解力を身に付ける。
○	○				TOEICリスニングの解法を学び、TOEIC400点レベルのリスニング力を身に付ける。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・英検準2級7日間達成予想問題ドリル ・TOEIC全パート入門書き込みドリル 					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	クラス分けテスト①(英検準2級、2級混合テスト)			無し	
	2	クラス分けテスト②(英検2級テスト)			無し	
	3	語彙問題 基礎、リスニング			授業の復習と次回授業の予習	
	4	語彙問題 基礎、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	5	語彙問題 基礎、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	6	語彙問題 基礎、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	7	語彙問題 基礎、リスニング、語彙テスト、英作文対策			授業の復習と次回授業の予習	
	8	長文問題 基礎、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	9	長文問題 基礎、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	10	長文問題 基礎、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	11	長文問題 基礎、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	12	長文問題 基礎、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	13	英検実践問題、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	14	英検実践問題、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	15	英検実践問題、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	16	英検実践問題、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	17	英検実践問題、リスニング、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	18	模試①(リスニング)			模試の復習	
	19	模試②(リーディング)			模試の復習	
	20	TOEIC part5基礎、語彙テスト			授業の復習と次回授業の予習	
	21	TOEIC part5基礎、語彙テスト、リスニングpart1対策			授業の復習と次回授業の予習	
	22	TOEIC part5基礎、語彙テスト、リスニングpart1対策			授業の復習と次回授業の予習	
	23	TOEIC part5基礎、語彙テスト、リスニングpart1対策			授業の復習と次回授業の予習	
	24	TOEIC part5基礎、語彙テスト、リスニングpart1対策			授業の復習と次回授業の予習	
25	TOEIC part6基礎、語彙テスト、リスニングpart1対策			授業の復習と次回授業の予習		

26	TOEIC part6基礎、語彙テスト、リスニングpart1対策	授業の復習と次回授業の予習					
27	TOEIC part6基礎、語彙テスト、リスニングpart1対策	授業の復習と次回授業の予習					
28	TOEIC part7基礎、語彙テスト、リスニングpart2対策	授業の復習と次回授業の予習					
29	TOEIC part7基礎、語彙テスト、リスニングpart2対策	授業の復習と次回授業の予習					
30	TOEIC part7基礎、語彙テスト、リスニングpart2対策	授業の復習と次回授業の予習					
31	TOEIC part7基礎、語彙テスト、リスニングpart2対策	授業の復習と次回授業の予習					
32	TOEIC part7基礎、語彙テスト、リスニングpart2対策	授業の復習と次回授業の予習					
33	TOEIC part7基礎、語彙テスト、リスニングpart2対策	授業の復習と次回授業の予習					
34	TOEIC part7基礎、語彙テスト、リスニングpart2対策	授業の復習と次回授業の予習					
35	TOEIC part7基礎、語彙テスト、リスニングpart2対策	授業の復習と次回授業の予習					
36	TOEIC part5応用、語彙テスト、リスニングpart3対策	授業の復習と次回授業の予習					
37	TOEIC part5応用、語彙テスト、リスニングpart3対策	授業の復習と次回授業の予習					
38	TOEIC part5応用、語彙テスト、リスニングpart3対策	授業の復習と次回授業の予習					
39	TOEIC part6応用、語彙テスト、リスニングpart4対策	授業の復習と次回授業の予習					
40	TOEIC part6応用、語彙テスト、リスニングpart4対策	授業の復習と次回授業の予習					
41	TOEIC part7応用、語彙テスト、リスニングpart4対策	授業の復習と次回授業の予習					
42	TOEIC part7応用、語彙テスト、リスニングpart4対策	授業の復習と次回授業の予習					
43	TOEIC part7応用、語彙テスト、リスニングpart4対策	授業の復習と次回授業の予習					
44	模試①	模試の復習					
45	模試②	模試の復習					
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	検定取得状況	◎	○				40%
	小テスト・出席率	◎	○		○		5%
履修上の注意	出席が15回(ホテル科は10回)に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用英語 I					
科目名(英)	Practical English I					
単位数	4単位	時間数	30時間	担当者	玉川 久美子	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	ホテルリゾート科1年					
授業概要	国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格である英検、TOEICの高資格取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。					
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					文法、語法、語彙を学び、文章中の情報をもとに構文を理解することができる。
	○					英語を聴くことに慣れ、意味を聞き取り、特定状況の中で使われるフレーズを学んでいく。
		○				ビジネスの背景知識を身につけるためにも日頃から新聞、ニュースに触れることで、知識や一般常識を活用できるようにする。
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・旺文社 実用英語2級問題集、英語検定協会 過去問題 ・国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC公式問題集 					
授業計画	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	動機付け—英語レベル分けテスト			学んだ問題の見直しをすること。	
	2	動機付け—英検2級能力判別テスト			学んだ問題の見直しをすること。	
	3	解法ポイントの理解—リスニング、語彙・文法、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。	
	4	解法ポイントの理解—リスニング、語彙・文法、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。	
	5	解法ポイントの理解—リスニング、語彙・文法、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。	
	6	解法ポイントの理解—リスニング、英作文			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。	
	7	解法ポイントの理解—リスニング、語彙・文法、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。	
	8	解法ポイントの理解—リスニング、語彙・文法、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。	
	9	解法ポイントの理解—リスニング、語彙・文法、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。	
	10	解法ポイントの理解—リスニング、英作文			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。	
	11	解法ポイントの理解—リスニング、語彙・文法、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。	
	12	解法ポイントの理解—リスニング、語彙・文法、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。	
	13	解法ポイントの理解—リスニング、語彙・文法、長文読解			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。	
	14	総合模試対策—リスニング、語彙・文法、長文読解、英作文			学んだ問題の見直しをすること	
	15	総合模試対策—リスニング、語彙・文法、長文読解、英作文			学んだ問題の見直しをすること	
	16	総合模試対策—リスニング、語彙・文法、長文読解、英作文			学んだ問題の見直しをすること	
	17	総合模試対策—リスニング、語彙・文法、長文読解、英作文			学んだ問題の見直しをすること	
	18	まとめ&質疑応答			学んだ問題の見直しをすること	
	19	TOEIC動機付け—文章中の情報をもとに構文ポイントを理解			学んだ問題の見直しをすること	
	20	構文の理解—主述の一致、格、時制、態、リスニング			学んだ問題の見直しをすること	
	21	構文の理解—前置詞、接続詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること	
	22	構文の理解—準動詞(動詞を他の品詞に変えたもの)			学んだ問題の見直しをすること	
23	構文の理解—不定詞、動名詞、分詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること		

	24	構文の理解—不定詞、動名詞、分詞、リスニング	学んだ問題の見直しをすること				
	25	構文の理解—慣用表現、形容詞、副詞、リスニング	学んだ問題の見直しをすること				
	26	構文の理解—慣用表現、形容詞、副詞、リスニング	学んだ問題の見直しをすること				
	27	構文の理解—語法、構文、比較、リスニング	学んだ問題の見直しをすること				
	28	構文の理解—関係詞、リスニング	学んだ問題の見直しをすること				
	29	情報を関連づけての読み取り—リスニング、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。				
	30	情報を関連づけての読み取り—リスニング、長文読解	意味不明の語彙は事前に調べておくこと。				
	31						
	32						
	33						
	34						
	35						
	36						
	37						
	38						
	39						
	40						
	41						
	42						
	43						
	44						
	45						
評価方法	(1)授業の中で語彙テストを実施する。(2)課題を与える。(3)中間テストを実施する。(4)期末試験(筆記)を実施する。以上の観点、割合から総合評価する。 成績評価基準は内規に準ずる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	語彙テスト	○					
	中間テスト	○	○				
	期末試験	○	○				
履修上の注意	課題の提出状況や授業中の取り組み姿勢も平常点として評価考慮するため、日々の定着学習を心掛けること。						

科目名	実用英語 I A						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	45時間	担当者	江口 美奈子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科1年生・ホテル科1年生						
授業概要	国際化が進み、高い英語力が求められる。この授業では、英検2級、TOEIC450点取得を目標とし、解法のポイントをお伝えしながら、目標達成に臨む。						
授業形式	講義: <input type="radio"/>	演習: <input type="radio"/>	実習: <input type="radio"/>	実技: <input type="radio"/>	※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="radio"/>		
学習目標 (到達目標)	目標						
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	英検2級取得に必要な文法を理解する		
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	英検2級取得に必要な単語を習得する		
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	TOEIC450点取得に必要な解法のポイントを理解する		
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	TOEIC450点取得に必要な単語を理解する		
テキスト・教材 参考図書	プリント・辞書						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	レベルチェックテスト					
	2	レベルチェックテスト					
	3	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	4	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	5	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	6	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	7	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	8	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	9	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	10	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	11	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	12	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	13	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	14	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	15	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	16	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	17	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	18	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	19	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	20	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	21	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	22	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	23	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	24	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	25	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	26	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	27	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	28	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	29	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	30	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	31	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	32	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	33	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	34	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	35	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	36	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	37	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	38	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	39	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	40	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	41	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	42	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	43	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	44	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
45	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと			
評価方法	1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	検定取得状況	◎	○				45%
小テストや授業態度	◎	○		○		5%	
履修上の注意							

科目名	実用英語 I					
科目名(英)	Practical English I					
単位数	4	時間数	45	担当者	山下満里	
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	エアライン科・ホテルリゾート科 1年					
授業概要	エアライン系科、ホテル系科に必要となる英語力の基礎を作る。具体的な方法として、まずは英検、そしてTOEICを受験する準備講座。語彙力をつけるため毎回の単語のテストを行う。基本の文法を習得し読解力をつける。英検のWriting問題を解き自分の意見を2つの理由とともに英語で書く。2次対策としての音読、発音、質問に答えるSpeaking力を鍛える。TOEIC対策としては語彙の増強、パートごとの対策。TOEICの英語をビジネスの現場で使える単語とする。					
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	
	○			○	英検、TOEICでよく出る単語の増強	
	○				基本の文法の土台を作る。	
	○	○			Listening力とSpeaking力	
	○				Reading力	
	○		○		Writing力	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英検過去問 ・ 桐原書店 TOEIC L&Rテスト書き込みドリル[全パート入門編] 					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	レベルチェックテスト			毎回単語小テスト	
	2	英検過去問 日曜日 2018-3			毎回単語小テスト	
	3	英検過去問 日曜日 2018-3			毎回単語小テスト	
	4	英検過去問 日曜日 2018-3			毎回単語小テスト	
	5	英検過去問 日曜日 2018-3			毎回単語小テスト	
	6	英検過去問 日曜日 2018-2			毎回単語小テスト	
	7	英検過去問 日曜日 2018-2			毎回単語小テスト	
	8	英検過去問 日曜日 2018-2			毎回単語小テスト	
	9	英検過去問 日曜日 2018-2			毎回単語小テスト	
	10	英検過去問 日曜日 2018-1			毎回単語小テスト	
	11	英検過去問 日曜日 2018-1			毎回単語小テスト	
	12	英検過去問 日曜日 2018-1			毎回単語小テスト	
	13	英検過去問 日曜日 2018-1			毎回単語小テスト	
	14	英検過去問 土曜日 2018-3 Listening			毎回単語小テスト	
	15	英検過去問 土曜日 2018-3 Reading			毎回単語小テスト	
	16	英検過去問 土曜日 2018-2 Listening			毎回単語小テスト	
	17	英検過去問 土曜日 2018-2 Reading			毎回単語小テスト	
	18	英検過去問 土曜日 2018-1 Listening			毎回単語小テスト	
	19	英検過去問 土曜日 2018-1 Reading			毎回単語小テスト	
	20	英検2次対策			毎回単語小テスト	
	21	英検2次対策			毎回単語小テスト	
	22	TOEIC Listening Part 1	Reading Part 5	Part 7	毎回単語小テスト	
	23	TOEIC Listening Part 1	Reading Part 5	Part 7	毎回単語小テスト	
	24	TOEIC Listening Part 1	Reading Part 5	Part 7	毎回単語小テスト	
	25	TOEIC Listening Part 1	Reading Part 5	Part 7	毎回単語小テスト	
	26	TOEIC Listening Part 1	Reading Part 5	Part 7	毎回単語小テスト	
	27	TOEIC Listening Part 1	Reading Part 5	Part 7	毎回単語小テスト	
	28	TOEIC Listening Part 2	Reading Part 6	Part 7	毎回単語小テスト	
	29	TOEIC Listening Part 2	Reading Part 6	Part 7	毎回単語小テスト	
	30	TOEIC Listening Part 2	Reading Part 6	Part 7	毎回単語小テスト	
	31	TOEIC Listening Part 2	Reading Part 6	Part 7	毎回単語小テスト	
	32	TOEIC Listening Part 3	Reading Part 5		毎回単語小テスト	
	33	TOEIC Listening Part 3	Reading Part 6		毎回単語小テスト	
	34	TOEIC Listening Part 3	Reading Part 7		毎回単語小テスト	
	35	TOEIC Listening Part 3	Reading Part 5		毎回単語小テスト	
	36	TOEIC Listening Part 3	Reading Part 6		毎回単語小テスト	
	37	TOEIC Listening Part 4	Reading Part 7		毎回単語小テスト	
	38	TOEIC Listening Part 4	Reading Part 7		毎回単語小テスト	
	39	TOEIC Listening Part 4	Reading Part 7		毎回単語小テスト	
	40	TOEIC Listening Part 4	Reading Part 7		毎回単語小テスト	
	41	TOEIC Listening Part 4	Reading Part 7		毎回単語小テスト	
	42	TOEIC BOOK 4 Test 1 Listening			毎回単語小テスト	
	43	TOEIC BOOK 4 Test 1 Reading			毎回単語小テスト	
	44	TOEIC BOOK 4 Test 2 Listening			毎回単語小テスト	
45	TOEIC BOOK 4 Test 2 Reading			毎回単語小テスト		
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	定期試験	◎	○			
	検定取得状況	◎	○			
	小テストや授業態度	◎	○		○	
履修上の注意	前期の欠席回数が15回までは、前期期末試験を受験できる。					

科目名	実用英語 I A					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	秋本 佐代子	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年					
授業概要	TOEICスコア600をめざす。文法と語彙の知識を増やし、長文読解では大意を掴む練習と共に、頻出の書式パターンも理解していく。またリスニングでは音読も取り入れ、自然な日常会話にも対応できる力をつけていく。					
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					下記に記した文法事項について説明ができる。
	○					ビジネスに関連した単語の意味を説明できる。
	○					まとまった長文の概要を説明できる。
	○	○				ビジネスに関連した内容の英文の概要を聞き取り説明することができる。
○	○				まとまった長文を聞き取り、内容を理解し、それに対する対応を選ぶことができる。	
テキスト・教材 参考図書	Basic Reading Strategies for TOEIC Test TOEIC TEST Byond 990、TOEIC TEST英文法 出るとこだけ、TOEIC TEST公式問題集3					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	レベルチェックテスト			間違った問題をやり直す	
	2	文法(数の一致)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し	
	3	語彙 1(Electronic Communication)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し	
	4	長文読解(広告)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し	
	5	リスニング(Part 1)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し	
	6	語彙 2(Personnel)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し	
	7	リスニング(Part 1)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し	
	8	語彙 3(Employment)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し	
	9	リスニング(Part 2)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し	
	10	文法(仮定法)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し	
	11	語彙 4(Presentation & Conferences)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し	
	12	リスニング(Part 3)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し	
	13	音読筆者の練習			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し	
	14	長文読解(チャット)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し	
	15	語彙 5(Sales)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し	
	16	リスニング(Part 3)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し	
	17	文法(関係詞)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し	
	18	語彙 6(Advertising & Marketing)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し	
	19	リスニング(Part 4)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し	
	20	語彙 7(Production)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し	
	21	長文読解(レター)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し	
	22	語彙 8(Real Estate)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し	
	23	リスニング(Part 4)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し	
	24	文法(分詞構文)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し	
	25	語彙 9(Accounting)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し	
26	リスニング(Part 4)			単語リストを覚える 間違った問題のやり直し		

	27	長文読解(記事)	単語リストを覚える 間違った問題のやり直し				
	28	語彙 10(Investment)	単語リストを覚える 間違った問題のやり直し				
	29	リスニング(Part 4)	復習テストに向けた勉強				
	30	復習テスト	間違った問題をやり直す				
評価方法	(1)授業の中で復習テストを1回実施する。(2)単語テストを17回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	単語テスト	◎					10%
	復習テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用英語 I A						
科目名(英)	Practical English I A						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	中山久豪		
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科1年生・ホテル科1年生						
授業概要	航空業界そしてサービス業全般で必要とされている英語力の向上のため、英検三級を通し、英語の基礎の力を伸ばす。 実用英語検定三級とTOEIC300点以上取得を目標とする。 日常英会話に留まらず、より高いレベルの英語力を持つ人材の育成を目標とする。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○				目標		
	○				英文法、基本構文の理解、語彙、リスニング力の向上。		
	○				英検3級の合格を目標。 ホテル、航空業界の実務に必要とされる英語力の習得。		
テキスト・教材 参考図書	英検三級予想問題ドリル、プリント、くもんの中学英語基礎固め100%。						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	レベル分けテスト					
	2	英語能力確認テスト					
	3	英検三級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	4	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	5	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	6	英検三級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	7	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	8	英検三級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	9	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	10	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	11	英検三級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	12	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	13	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	14	模擬試験					
	15	英検三級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	16	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	17	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	18	英検三級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	19	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	20	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	21	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	22	英検三級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	23	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	24	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	25	英検三級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	26	確認テスト					
	27	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	28	英検三級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	29	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	30	英検三級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	31	英検準二級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	32	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	33	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	34	英検準二級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	35	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	36	英検準二級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	37	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	38	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	39	英検準二級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	40	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	41	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	42	英検準二級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	43	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	44	英検準二級対策(リスニング、文法、長文読解)					
45	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)						
評価方法	(1)検定取得状況 (2)小テスト、授業態度 (3)定期試験(筆記) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	検定取得状況	◎	○				45%
	小テストや授業態度	◎	○		○		5%
履修上の注意	辞書の持参。						

科目名	社会教養 I A						
科目名(英)	Social education I A						
単位数	1単位	時間数	20時間	担当者	木村 匡志		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	ホテル見学や学内での企業説明会に参加することによって、自身の目指す業界を肌で感じ、就職に対する意識を持つことを目的とする。また、7月からのホテル実習の意義を十分に理解し、その準備を行っていく。就職活動前の準備として課題作文に取り組む為、その提出状況も社会教養の成績評価に加味する。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
				○		社会人として相応しい身だしなみでホテル見学や企業説明会に参加することができる。	
	○					ホテル見学でのレポートを作成し、期日までに提出することができる。	
	○					課題作文を完成させ、期日までに提出することができる。	
				○		ホテル実習の準備に積極的に取り組み、完了させることができる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	学内企業説明会に参加			身だしなみを整えた上で参加すること		
	2	入学時アンケート、適性検査、スポーツ大会委員決め、クラス目標			決定したクラス目標を実践すること		
	3	ホテル実習の意義、実習内容説明、実習アンケート、自己紹介シート、レポート・作文課題について			実習先希望地域を考え、理由と共に提出すること		
	4	ホテル見学・buffet体験			見学後、レポートを作成すること		
	5	スポーツ大会準備			出場選手などの決め事を完了させること		
	6	ホテル実習用写真撮影			ホテル実習を意識した身だしなみを準備しておくこと		
	7	ホテル実習準備・伝達事項			ホテル実習の準備を進めること		
	8	ホテル実習準備・伝達事項			ホテル実習の準備を進めること		
	9	海外研修旅行説明会			海外研修アンケートを提出すること		
	10	洋食テーブルマナー			見学後、レポートを作成すること		
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)課題作文を実施する。(2)出席状況や授業中の態度・意欲、レポートも成績評価とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題作文提出状況					◎	50%
	出席状況・授業態度・レポート				◎		50%
履修上の注意	ホテル実習準備やスポーツ大会準備の進捗状況により、授業回数が増える可能性があります。 検定やイベント等での日程調整により、授業項目の順番に変更が出る場合もあります。						

科目名	宿泊実務 I						
科目名(英)	Practical Skills in Rooms Department						
単位数	2単位	時間数	40時間	担当者	郡嶋 奨		
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	ホテルにてフロント業務 として勤務		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	宿泊部門におけるベルスタッフ、ハウスキーピング(客室係)の実務を実技形式で学ぶ。該当部署の業務を理解し、ホテルの中での宿泊部門の役割を考える。また該当部署の業務に必要な専門用語を学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	目標		
	○	○			きれいな歩き方や方向の指し示しなど、ホテルで働く基礎となる動作を習得する。		
	○				ベルスタッフの業務について専門用語を交えて説明できるようになる。		
	○	○			客室案内業務(エスコート)を実践できるようになる。		
	○	○			バゲージカートを操作できるようになる。		
○	○			デュベタイプのベッドメイクができるようになる。			
テキスト・教材 参考図書	宿泊業務の基礎、プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業内容説明、業務特性、基本動作					
	2	フロントサービスの業務、ベルエスコート業務導入			プリントの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	フロントサービスの業務、ベルエスコート業務			プリントの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	客室内アテンド①入室～荷物					
	5	客室内アテンド②カーテン～ルームキー渡し・注意事項説明			前回の実技内容を復習しておくこと		
	6	客室内アテンド③照明説明・方向指示・退室			前回の実技内容を復習しておくこと		
	7	客室内アテンド④通し練習前半			前回の実技内容を復習しておくこと		
	8	客室内アテンド⑤通し練習後半			前回の実技内容を復習しておくこと		
	9	客室内アテンド⑥通し練習			前回の実技内容を復習しておくこと		
	10	客室内アテンド⑦通し練習			前回の実技内容を復習しておくこと		
	11	実技テスト					
	12	実技テスト(予備)、ロビー車寄せでのアテンド①			前回の実技内容を復習しておくこと		
	13	ロビー車寄せでのアテンド②			前回の実技内容を復習しておくこと		
	14	カート操作(ロビー)			前回の実技内容を復習しておくこと		
	15	カート操作(エレベーター)			前回の実技内容を復習しておくこと		
	16	ハウスキーピングの業務、ベッドメイク実技①			前回の実技内容を復習しておくこと		
	17	ベッドメイク実技②			前回の実技内容を復習しておくこと		
	18	フロントサービス、フロント、ハウスキーピングの連携					
	19	宿泊部門の英語①			前回の履修内容を復習しておくこと		
20	宿泊部門の英語②、まとめ						
評価方法	(1)授業の中で実技テストを1回実施する。(2)小テストを数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	実技試験	◎	○	◎	◎		45%
	小テスト	◎	○		◎		5%
履修上の注意	出席が14回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						